

報道用資料

Press Release

大岡信ことば館

展覧会のご案内

企画展

谷川俊太郎展

・ 本当の事を云おうか ・



「木になった詩人」 撮影：岩本圭司



大岡信ことば館
OOKA MAKOTO KOTOBA MUSEUM

2016 年 8 月
報道関係各位

残暑が未だに厳しき折、貴社におかれましては変わらずご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より格別のご高配を賜り感謝申し上げます。

さて、株式会社増進会出版社 CSR 推進室・大岡信ことば館では、9 月 22 日より、「谷川俊太郎展・本当の事を云おうか・」を開催いたします。

2009 年 10 月の開館以来、詩人・大岡信（1931 年～）の考えに寄り添い、「ことば」をテーマに活動を続けてきた弊館が、この度、大岡信と親交の深い詩人・谷川俊太郎にスポットを当てた展覧会を、谷川本人の多大なる協力を得て開催いたします。

谷川俊太郎（1931 年～）は、詩を書き始めてすぐに注目を浴びますが、詩人としてデビューした後も、常に生活者としてその時代に身を浸し、その空気を自らの体を通してさせるようにして、みごとに詩という形に落とし込んできました。現代詩の世界に身を置きながらも常にそこに疑問を感じ、あるいは言葉そのものにさえ距離を取りながら、彼の言葉は実に生き生きとしています。

本展では、少年時代に夢中になったという模型飛行機や、その後のラジオコレクションの一部などを紹介しながら、詩人谷川の原点を探り、谷川自身の手による写真などから、詩人の背後に見え隠れするものを探っていきます。さらに単体で詩として存在するもの、絵本のように他者とのコラボレーションにより存在するもの、それぞれにフォーカスすることで、谷川の言葉の奥行きと広がりに触れていきます。

また谷川は、音として存在する詩の朗読にも力を入れていますが、彼の詩の朗読のいくつかを、会場内で聴くこともできます。加えて同人誌「櫛」での活動や「連詩」の紹介、展示室「大岡信の部屋」では、谷川俊太郎と大岡信の関わりを紹介していきます。

展示概要

■会期

2016年9月22日（木・祝）～12月25日（日）

※初日の午前中に内覧会開催（谷川俊太郎氏 出席予定）

※取材の場合は弊館までお問い合わせください。

■会場

大岡信ことば館展示室（JR三島駅北口 Z会文教町ビル1, 2階）

■展示内容

処女詩集『二十億光年の孤独』

- ・ 初期詩作ノート類
- ・ 模型飛行機（詩／模型（現代のもの）／当時の雑誌など）

文化人との交流

- ・ 書簡類（三好達治／室生犀星／堀口大學／小林秀雄ほか）

画家やデザイナーとのコラボレーション

- ・ 詩集や絵本の原画
佐野洋子／太田大八／和田誠／元永定正／皆川明／大竹伸朗／望月通陽／江頭路子
以上8名より30点程度

谷川俊太郎の詩作品

- ・ 詩の朗読（録音されたもの）数篇
- ・ 詩の造形展示

谷川俊太郎の写真作品

- ・ 写真『絵本』『SOLO』『トロムソコラージュ』『写真』『東京バラード、それから』
20点程度

谷川俊太郎の映像作品

- ・ 映像作品 「ビデオ・レター（谷川俊太郎と寺山修司による）」「ビデオサンプラー」
「無言歌」

谷川俊太郎のラジオコレクション

- ・ ラジオコレクション 10点

そのほか

- ・ 権（同人誌ほか）

■大岡信の部屋（大岡信と谷川氏の共同の仕事を紹介）

- ・「フランクフルト連詩」（1990年）墨書巻物、ほか関連資料
- ・共著『にほんご』（1979年 福音館書店）紹介、安野光雅氏原画数点展示
- ・南画廊での展覧会（1975年）
- ・ほか、書簡、共著紹介など

■関連イベント

- ・ 9月25日 対談 谷川俊太郎×大岡玲^{あきら}
- ・ 10月29日 朗読とピアノライブ 谷川俊太郎×谷川賢作
- ・ 11月13日 ワークショップ〈えほんさっかになろう〉江頭路子
- ・ 12月4日 ロバの音楽座「オンガッカイ」
- ・ 12月11日 対談 谷川俊太郎×楠かつのり

詳細はウェブページをご覧ください。

【開催場所】

大岡信ことば館

〒411-0033 静岡県三島市文教町 1-9-11 Z 会文教町ビル 1,2F

TEL:055-976-9160 FAX:055-989-1360

<http://kotobakan.jp/>

<http://kotobakan.jp/exhibitions/shuntaro>（展覧会詳細ページ）

E-mail:kotobakan@zkai.co.jp

【開館時間】 午前 10 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分まで）

9月22日は午後12時から開館（午前中は内覧会のため）

【休館日】 月曜日 ※10月10日は開館、10月11日は休館

【入館料】 大人 1,000 円／学生（高校・大学生）600 円／子ども（小・中学生）300 円／
未就学児無料

★大岡信ことば館開館記念日（10月5日）は入館無料

★リピーター割引★

会期中、本展使用済み入館券をお持ちの方は半額で入場が可能です！

※割引の併用不可

- ・ 障害者手帳ご呈示の方および、その付き添いの方 1 名無料
- ・ 静岡県内の小学生はミュージアムパスポートご呈示で無料
- ・ 入館協約校の身分証をお持ちの方と同伴 2 名様まで無料

- ・Z会グループ会員（現在ご受講中）の方で、会員番号がわかるものをご呈示の方と同伴1名様まで無料
- ・シニア割引 毎週木曜日 ※60歳以上の方は半額
- ・団体（4名以上） 各100円引き

【主催】大岡信ことば館

（本展は三島市制施行75周年記念「みしまの文化百花繚乱」参加プログラムです）

【協賛】

第一三共株式会社／スルガ銀行／伊豆箱根鉄道株式会社／みしまプラザホテル

【後援】

静岡県・三島市・沼津市・長泉町・清水町・裾野市・函南町・御殿場市・富士宮市・伊豆の国市・伊豆市 各教育委員会

富士市／静岡新聞社・静岡放送／テレビ静岡／静岡朝日テレビ／静岡第一テレビ

■ミュージアムショップ情報

2014年に限定販売された特装本「夏のポエメール」を、今回特別に販売いたします。

その他、書籍やTシャツ等のグッズを多数取り揃えております。

以上

取材のご希望および詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

【問い合わせ】

大岡信ことば館

住所 〒411-0033

静岡県三島市文教町1-9-11Z会文教町ビル1,2階

TEL:055-976-9163／FAX:055-989-1360

E-mail: kotobakan@zkai.co.jp

<http://kotobakan.jp/>

本展覧会URL <http://kotobakan.jp/exhibitions/shuntaro>

広報担当：関義明／展覧会担当：奈良本真紀

■資料

※図版掲載をご希望の場合は必ずご連絡をお願い申し上げます。



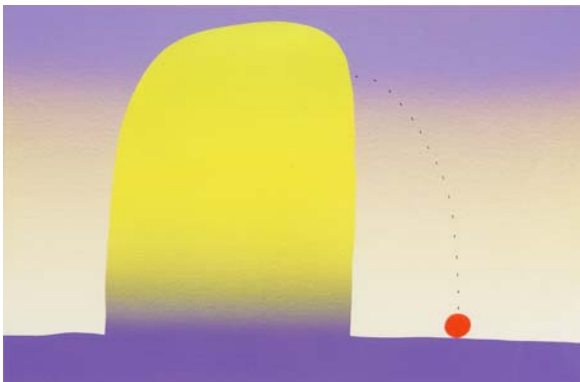
詩集『はだか』より 絵：佐野洋子 ©JIROCHO, Inc.



絵本『はいくないきもの』より 絵：皆川明



絵本『せんそうしない』より 絵：江頭路子



絵本『もこもこもこ』より 絵：元永定正



写真集『SOLO』より



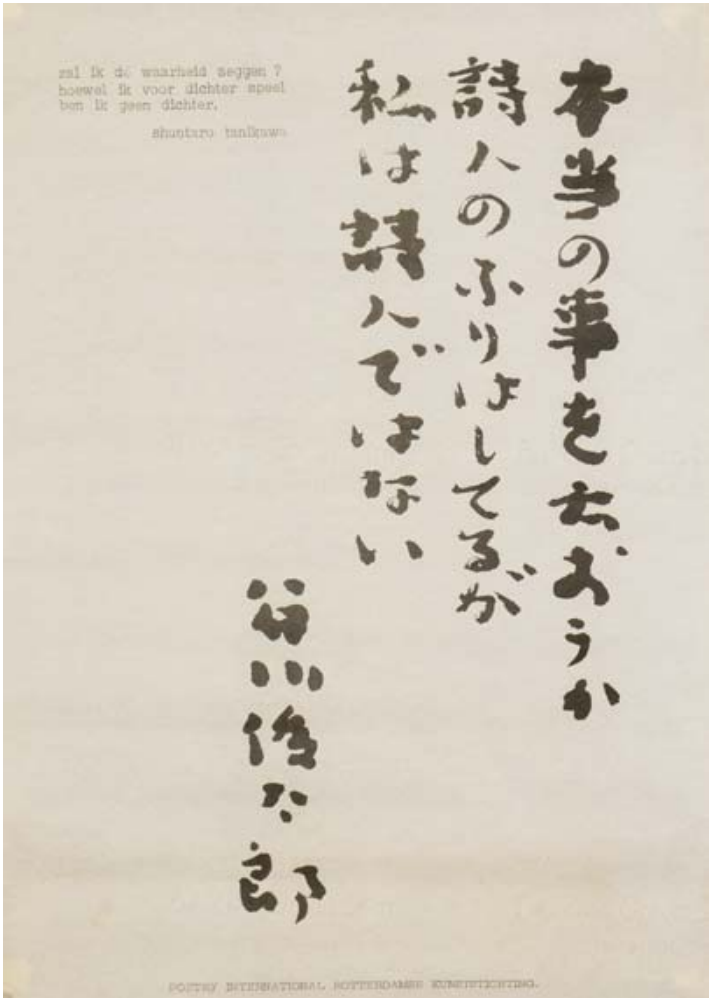
映像作品「ビデオサンプラー」より「インタビュー 机にきく」



ラジオコレクションより | RCA Victor (アメリカ)



ラジオコレクションより | Stewart Warner (アメリカ)



ロッテルダム国際詩祭のポスター (1992)

■ 展示室資料



谷川氏本人による詩の朗読を聴くことができる装置（写真はイメージです）



大岡信ことば館ならではの手法による、詩の造形展示イメージ。